



株式会社 新日

補償ミニコミ

本社 / 〒454-0011 名古屋市中川区山王一丁目8番28号 TEL 052-331-5356 FAX 052-331-4010

URL http://www.shinnichi.co.jp E-mail:shinnichi@shinnichi.co.jp

Table with 3 columns: Branch Name, Address, Contact Info. Includes branches like 三重支店, 岐阜支店, etc.

編集者 内田 貢朗

ISO9001:2008



~ 新日創立45周年&補償ミニコミ第100号 記念号 ~

新日創立45周年&補償ミニコミ発行第100号



この平成25年11月をもつて新日は45周年を、補償ミニコミは第100号の発行を迎えることができた。こんなにも長く続いたこと、ボーリングに凝ったこともありまして。時には魚釣りにもよく出かけたこともありまして。しかし、どれもこれも25年の長期継続ができたこと、どれくらいかと思えば長いこと、感謝しております。ありとうございます。第100号といえば、この補償ミニコミは2月、5月、8月、11月の年4回であるため、創刊以来25年、いわば四半世紀が経過したことになります。思えば長く続いたものと感心しています。趣味の遊びであってもそれほど

続くものではありません。若い頃にはスキーに凝ったことも、ボーリングに凝ったこともありまして。時には魚釣りにもよく出かけたこともありまして。しかし、どれもこれも25年の長期継続ができたこと、どれくらいかと思えば長いこと、感謝しております。第100号といえば、この補償ミニコミは2月、5月、8月、11月の年4回であるため、創刊以来25年、いわば四半世紀が経過したことになります。思えば長く続いたものと感心しています。趣味の遊びであってもそれほど

世界の土木遺産

先日、私用でイタリアのローマへ行く機会を得ました。そこで一日かけてローマ郊外の土木遺産であるカラカラ浴場とアツピア街道、ローマ水道を見てきました。

最初にカラカラ浴場、これは現在の超大型のスパ。銭湯と言えるのでは山からの湧水をローマ水道(アツピア水道)で通

し、それを沸かして利用して、イタリアを含むヨーロッパの人々は風呂に入る習慣はほとんどないようですが、紀元前ローマの人々は日本人と同じように風呂を楽しむ習慣があり、それがいつの間にかシャワーを使うようになったようです。次に「すべての道は石畳のローマに通ず」でゆかりのアツピア街道を経て、最後にローマ水道(アツピア水道)跡地を訪

れました。学生時代の最初に習った専門学科授業で、アツピア街道、アツピア水道が紹介されたことを記憶しています。紀元前300年の時代に建設された当時のインフラですが、現在、アツピア水道は使われていないものの、0.4%の勾配に保たれ、不純物を取り除く為の沈澱池等、驚きの



カラカラ浴場 (M.A)



アツピア街道 (M.A)

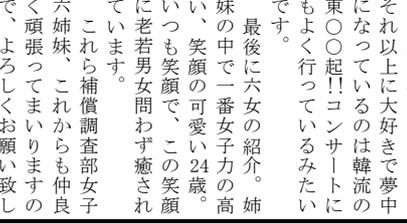


ローマ水道(アツピア水道) (M.A)

るにあたって、今後も補償業務専門技術者集団として研鑽していく必要があると実感しています。新日が存在する限り、第200号、300号発行を目指していく覚悟です。これからも起業者の皆様をはじめ多くの方々のご意見等お待ちしております。(編集者 M.U)

現在、補償調査部に所属している女性は6名。その女性達を紹介していきたいと思ひます。まず初めに、私、現在四十八歳。社内ではおばちゃんと呼ばれ、時にはもっと酷い呼び方もされますが、どう呼ばれようが当たっているのが気にしません。現在、補償の女子の中で私が一番上なので長女としておきます。若い女子に遥かに負けていますが、吸収できるものは吸収して頑張っています。これからは色々な事に挑戦していきたいと思っております。次に次女の紹介。小柄で年より若く見える可愛い人、性格はハッキリしています。マラソンが

趣味で色々な所で開催されているマラソンに出場して完走するほどの活発な次女です。次に三女。只今子育て真っ最中の二児のママ。家事・育児・仕事に頑張っていますが、ちよつぱり泣き虫ですが、頭のキレがよく、仕事を素早くこなしていく所が凄いです。最後に六女の紹介。姉妹の中で一番女子力の高い、笑顔の可愛い24歳。いつも笑顔で、この笑顔に老若男女問わず癒されています。これら補償調査部女子六姉妹、これからも仲良く頑張っていきたいと思います。(A.M)



東日本大震災以降、東北地方の復興事業をはじめ公共事業を早期に進めるためには用地取得が最大のネックであるとの認識が高まっていることから、用地補償総合技術業務の発注が増加しています。中部にあつても、整備局はもとより各市町村でも徐々にではありますが用地交渉業務が発注される傾向にあります(知る限り、中部の4県自体から発注は未だありませんが)。業務を受注する要件として、総合補償業務管理士資格が必要ですがこの資格取得は結構ハードルが高い資格です。土地調査や物件部門の調査算定業務を経験し充分理解したうえでないとなかなか合格出来ない難しい資格でもあります。こうした分野の業務ではありますが、受注環境が厳しい状況にあつて将来的には魅力ある補償コンサルタント業務の分野と考へます。弊社にあつては、総合補償業務管理士有資格者9人を抱えています。が、経験実績という面では充分満足とは言えません。それでも、弊社としては、今後発注されるこの分野業務に積極的に挑戦していきたいと考へているところ。チャンスが頂ければ幸いです。(A.A)



補償六姉妹調査部

用地補償総合技術業務に向けて

かまいたし だより



東北支店開設の 御紹介

平成23年3月11日。宮城沖海底を震源とする大震災が発生しました。所によつては10mを超える巨大津波により多くの建物が崩壊し、死者、行方不明者1万8千人、住む場所を失くした避難者は40万人を超えました。さらに福島原発の水素爆発による放射性物質漏洩事故は、現在も収束する様子も無く、次々に新

たな問題が発生しています。そして、平成25年10月になつても、尚28万人の避難者が不慣れた生活を余儀なくされています。私は震災2ヶ月後、平成23年5月に被災地視察のため宮城県の石巻、南三陸町等の被災地を訪問しました。被害の凄まじさに強烈な衝撃を受けカメラさえ

直ちに、震災復興業務として平成23年5月より損害保険対象の建物等に対する損保鑑定業務として千葉県から茨城県にかけての「建物等の被害評価業務」につきました。そして、平成24年4月「常磐自動車道家屋調査業務」。同年5月「街区基準点等の座標補正検証測量（山形業務）」を受注しました。さらに放射能除染関連業務では、補償コンサルタント協会会員として、平成24年3月から環境省「除染等の措置に必要な土地等の関係人調査業務（南相馬市）」を担当。同年7月からは東京電力「財物（土地、建物）の賠償に関する相談等対応業務の補助業務（有明）」の参加。さらに同年9月からは環境省「除染等の措置に係る関係人に対する現地説明及

び同意取得支援業務（楡葉町）」に参加することが出来ました。また、今年の平成25年8月からは海岸事業、「事業認定図書作成業務」を受注しています。弊社、担当職員は事務所開設前から東北地方において平成23年及び24年の冬、そして今年3年目の冬を迎えようとしています。当初から参加の職員には、住宅事情、職場環境等に関しても厳し

い思いをさせています。それでも使命感を持って業務に就いている彼らを尊敬し誇りにも思っています。そして、来年の平成26年も東北の被災地復興に向けて全力を注ぐつもりです。今後、この3ヶ月毎のミニコミ発行にあたっては「かまいたし だより」を連載し復興状況を紹介していこうと考えています。（M・A）



技能向上を目標に！

新日補償調査部も昨年度から多くのパソコンが買い替え時期を迎えて新調されることになり、部内のオフィスのパソコンもSSDが主流になりま

「調査原本」なるテンプレートを作成し、それを利用して調査を作っています。原本のファイルには予め計算式やマクロが組まれているのですが、原本は毎年一から作るわけではなく、前年度の原本を加工して今年度用にしていきます。私が入社する前から存在する原本が一つから作られたのは何年前になるのかわからないのですが、システムとしてはもう十年前になるエクセル2003形式で作ら

れたものです。それを使い続けるというのも無理な話で、バージョンの違いによる不具合が目立つようになりま

それを今年度は調査原本を整えようと思

「ああしたい」「こうしたい」と頭に描いているのにエクセルの関数と向き合いましたが、結果、自分はエクセルのさわりの部分しか知らないのだという

ことを悟るに至りました。仕組みを知らないまま、道具の性能ばかり上がり、自分自身が折角の道具を使いこなすことができないでいた訳です。

新天地である釜石市での事務所勤務を機会に、覚えていく知識だけではないのです。基本からパソコンの勉強を頑張りたいと思います。（T・N）

がんばっぺし釜石！

現在、東北支店では、釜石市の中心市街地の復興整備事業において、用地買収補助業務、測量調査設計業務、建設工事及び工事監理業務を一体的に発注し、各業務間で相互協力を行うことで、早期復興を図ることを目的とした業務を行っています。この内、弊社は用地買収補助業務、測量調査設計業務、工事監理業務に従事します。

用地買収補助業務が、調査測量部と技術部が測量調査設計業務を実施します。また、共同提案体の関係者との調整を行い業務を円滑に推進するための役割を担います。

復興に向けた工事が始まりました。市民の皆様から「ありがとう」、「よろしく頼む」、「頑張ってください」の声をかけられます。そのような声に報いるためにも、弊社は東北支店では元より、全社を挙げた支援体制のもと、一日でも早い釜石市の復興に寄与するべく、本業務に取り組んでいきます。「がんばっぺし釜石！」を合言葉に精一杯頑張ります。よろしくお願ひ致します。（東北支店長 T・S）



釜石に勤務している職員の多くは会社が設置した寮で共同生活しています。寮のある大槌町にはNHKが52年に放送開始した「ひよっころひよたん島」のモデルとなった蓬萊島が大槌湾に浮かんでいます。

ひよっころひよたん島

この番組は、当時の子供達に絶大の人気があった人形劇で我々団塊世代の者からすれば、ちょうど夕食時間どきの番組でもあり、否が応でも、島の大統領ドン・ガバチョ

ここでの仕事及び生活環境ともなにか、復興業務に参加させていたでいて、一員として、

「苦しいこともあるだろう。悲しいこともあるだろう。だれを恨むわけでもない。泣くことはない。泣くのはお前だけだ、笑っちゃおう。進めー!!」

この復興業務に自覚と誇りを持って取り組んでいくつもりです。（M・M）

